

# 東口が、動く。

## それは 米原の新しい顔になる



## 米原駅東口 周辺まちづくり事業者募集!

### 米原駅東口周辺まちづくり事業

米原市は、伊吹山や琵琶湖などの自然に彩られ、県内唯一の新幹線停車駅「米原駅」があり、新幹線なら東京へ約2時間強、京都・名古屋へ約20分、新大阪へは約30分と都市部とのアクセスの良さが魅力です。

この「米原駅」の東口駅前には約2.8ヘクタールの公有地があり、「米原駅東口周辺まちづくり事業」では、公民連携による魅力ある都市空間の形成や都市機能を集積し、滋賀の東の玄関口にふさわしい、米原駅を核としたまちづくりを目指しています。

市では、これまで米原駅東口周辺整備を進めるとともに、周辺エリアの一体感、にぎわいの創出によって新たな核となる都市を形成するため、市役所新庁舎の移転や米原駅と直結する連絡通路を整備してきました。

また、民間の投資を呼び込むため、民間事業者と連携し、米原駅東口周辺まちづくり事業を進めてきましたが、「米原駅東口周辺まちづくりビジョン」策定から

16年が経過した現在も土地が活用できていない状況です。

この要因としては、市が期待する土地活用の方向性と、民間事業者が事業を成り立たせるための土地活用が必ずしも一致せず、お互いにこのことを埋められなかったことが実現に至らなかった大きな要因と考えています。

募集要項公表

令和5年12月15日

参加表明受付

令和6年2月7日～  
令和6年2月9日

提案書受付

令和6年4月11日～  
令和6年4月15日

優先交渉権者決定  
5月下旬予定

その後土地譲渡契約へ

## 新たなヒト・モノ・コトを生み出す まちの核、つくりへ

市は今日まで事業が進まなかった事態について反省と検証を行うとともに、今後の土地活用の具体化とまちづくり事業を着実に推進するため、民間事業者から進出意欲や条件などについて意見を聞くサウンディング型市場調査を実施し、参加者からは様々な意見、提案をいただきました。そして、この調査結果を踏まえ、現在、この土地を一体的に活用いただく民間事業者を募集する募集要項を公表しています。今後、令和6年2月7日から2月9日までを参加表明受付期間、4月11日から4月15日までを提案書受付期間として設け、大学教授などの外部委員による審査を経て優先交渉権者を決定し、土地を売却する予定です。



米原駅東口周辺  
まちづくり事業公募型  
プロポーザルについて



▲平尾市長が三日月知事と東口周辺まちづくり事業について協議【令和5年11月24日】

長年の懸案であった米原駅東口周辺まちづくり事業もいよいよ動き出します。  
この事業によってまちの核となるべき米原駅周辺の都市機能を強化し、新たな価値が創造され、ひとが集いにぎわいのあるまちとなるように、市長自らトップセールスに努め、市議会、滋賀県と協力して取り組んでまいります。

## 米原駅東口事業者立地促進条例(案)の市民意見(パブリックコメント)を募集します

米原駅東口周辺まちづくり事業区域の都市機能を強化し新たな価値を創造することを目的に進出する事業者に対する奨励制度を定めた「米原駅東口事業者立地促進条例(案)」について、皆様のご意見をお聞かせください。

### 閲覧場所

政策推進課、山東支所、各市民自治センター、本庁舎・市立図書館の市政情報プラザ、各行政サービスセンター、市公式ウェブサイト



### 提出方法

1月9日(火)までに閲覧場所に直接提出または郵送、ファクス、メールで下記に提出してください。

## サウンディング型市場調査の実施結果

実施期間	令和5年7月28日(金)～ 令和5年8月4日(金)	
参加事業者	14者	
業種	建設業者	5者
	開発業者	3者
	その他	6者
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・新幹線停車駅前であり、ビジネスに需要がある。</li><li>・関西、北陸、東海方面の結接地で、大企業の拠点が複数ある。</li><li>・駅前であり、住宅地としての需要がある。</li><li>・商圏が弱い割に、土地価格が高い。</li><li>・長浜市、彦根市に商業施設が多くあるため、商業施設を誘致するのは厳しい。</li></ul>	

※サウンディング型市場調査とは、直接の対話により民間事業者からの意見を聞き、募集条件を検討・反映することを目的とした調査手法のことです。

問い合わせ・意見提出先

〒521-8501 米原市米原1016  
米原市役所 政策推進部 政策推進課 ☎53-5162 ㊚53-5148  
✉sousei@city.maibara.lg.jp